

京都市環境教育・学習基本指針（平成29年3月策定）

環境教育・学習の目的	- 持続可能な社会を構築する「担い手づくり」 「京都らしさ」の継承にもつなげる												
環境教育・学習促進の方向性	- 身近な生活・京都の都市特性を活かした取組 ライフステージに応じた育み - 各実施主体の協働と連携 - 環境教育・学習の機会・場づくり 〈各ライフステージに応じて育みたい力の例〉 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>乳幼児期</td><td>遊びを通じた自然への親しみ</td></tr> <tr> <td>小学生</td><td>体験を通じた環境についての学び</td></tr> <tr> <td>中学生</td><td>環境問題の広がりに対する理解</td></tr> <tr> <td>高校生</td><td>実践に向けた論理的かつ科学的な理解</td></tr> <tr> <td>大学生 専門学生</td><td>専門知識の取得と主体的な実践</td></tr> <tr> <td>社会人</td><td>継続的な学びと実践及び文化、こころの継承</td></tr> </tbody> </table>	乳幼児期	遊びを通じた自然への親しみ	小学生	体験を通じた環境についての学び	中学生	環境問題の広がりに対する理解	高校生	実践に向けた論理的かつ科学的な理解	大学生 専門学生	専門知識の取得と主体的な実践	社会人	継続的な学びと実践及び文化、こころの継承
乳幼児期	遊びを通じた自然への親しみ												
小学生	体験を通じた環境についての学び												
中学生	環境問題の広がりに対する理解												
高校生	実践に向けた論理的かつ科学的な理解												
大学生 専門学生	専門知識の取得と主体的な実践												
社会人	継続的な学びと実践及び文化、こころの継承												
行政の役割	- 環境教育・学習の実施主体としての役割 - それぞれの主体の環境教育・学習の取組を促進する役割												

客観的指標結果

客観的指標

環境保全活動プログラム参加者数※

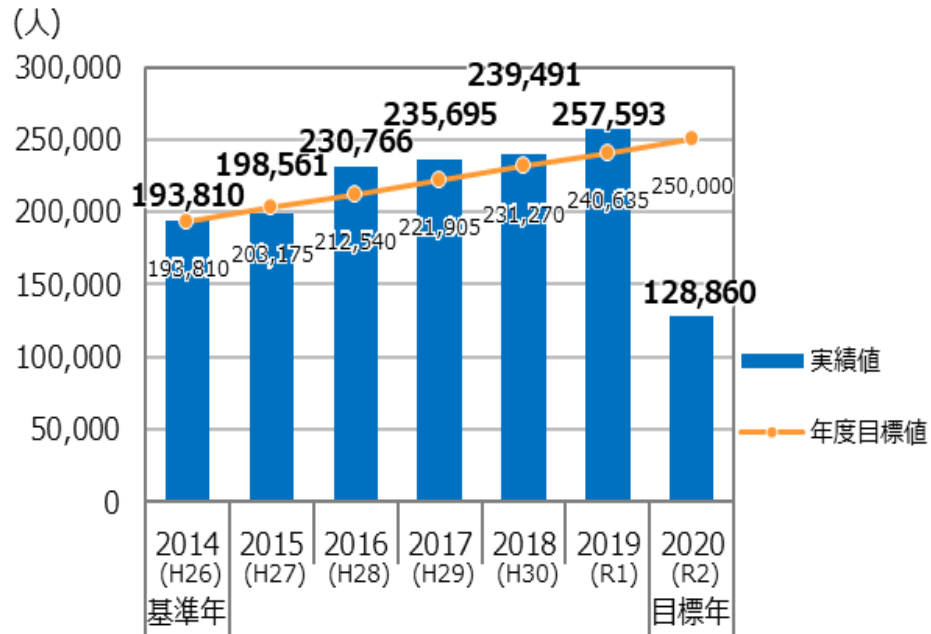


図4.43 環境保全活動プログラム参加者数
(環境レポートp39参照)

2020 (R2) 実績

年度目標値	実績値	評価結果 (達成度)
250,000人	128,860人	★★☆☆☆ (52%)

これまでの評価結果 (達成度)

H28評価	H29評価	H30評価	R1評価
★★★★★ (100%以上)	★★★★★ (100%以上)	★★★★★ (100%以上)	★★★★★ (100%以上)

※環境保全活動プログラム参加者数

自然体験学習の場の利用者数, 京エコロジーセンター
及びさすてな京都におけるエコ学習やその他環境学習
関連事業への参加者数の合計

コロナの影響で一時的に減少しているものの、環境保全活動参加者数は年々増加

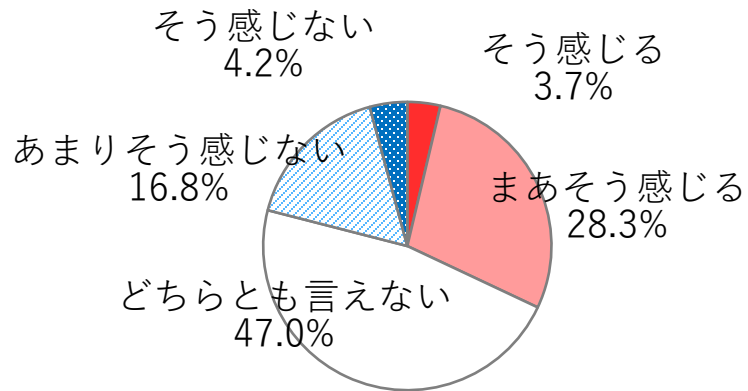
市民アンケート結果

主観的指標

学校や会社、地域で環境学習や環境保全活動の機会が増えていると感じるか。

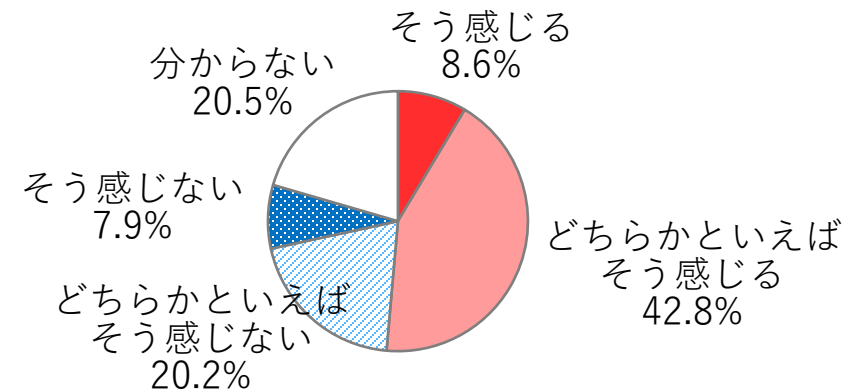
2016(平成28)年度

そう感じる計 32.0%



2020(令和2)年度

そう感じる計 51.4%



H28評価	H29評価	H30評価	R1評価	R2評価
★★★★☆ (やや高い/0.11)	★★★★☆☆ (どちらとも言えない/0.06)	★★★★☆☆ (どちらとも言えない/0.02)	★★★★☆ (やや高い/0.15)	★★★★☆ (やや高い/0.24)

環境学習や環境保全活動の機会が増えていると感じる人は過半数まで上昇

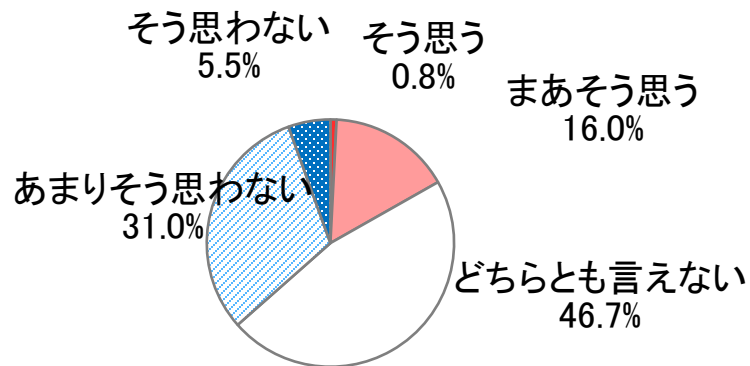
市民アンケート結果

補足質問

環境教育・学習や環境保全に関する情報を十分に得られているか。

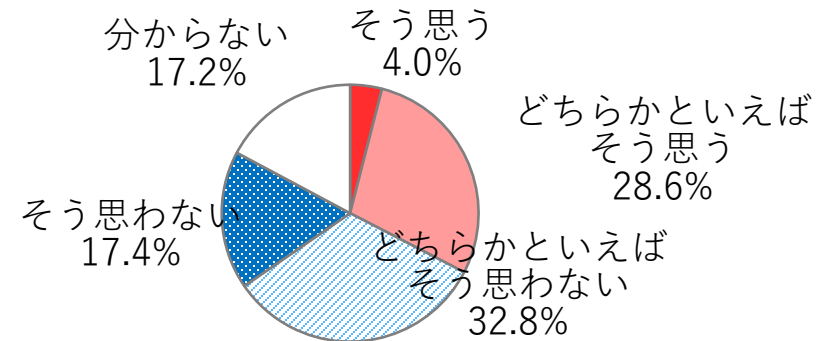
2016(平成28)年度

そう思う計 16.8%



2020(令和2)年度

そう思う計 32.6%



H28評価	H29評価	H30評価	R1評価	R2評価
★★★☆☆ (どちらとも言えない0.00)	★☆☆☆☆ (とても低い/-0.63)	★★☆☆☆ (やや低い/-0.46)	★★☆☆☆ (やや低い/-0.37)	★★☆☆☆ (やや低い/-0.31)

環境学習や環境保全に関する情報を十分に得られていると思う人は3割程度

京都市における主な環境教育・学習の取組

環境学習施設

さすてな京都（京都市南部クリーンセンター環境学習施設）



<施設の概要>

- ・ 巨大なごみピットや迫力あるごみクレーン
- ・ 巨椋池など地域の歴史や地勢を学べる高さ66mの「展望台」
- ・ 環境クイズ、デジタルサイネージなど体験型の楽しいコンテンツを展示
- ・ 希少種を観察できる「屋外ビオトープ」
- ・ 2020（令和2）年度の来館者数 **10,318人**

京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）



<施設の概要>

- ・ 環境にやさしい暮らしのヒントとなる展示物や企画展示
- ・ 自分で調べものができる「かんきょう図書コーナー」
- ・ 親子参加型の楽しいイベント（クッキングや工作など）
- ・ 2020（令和2）年度の来館者数 **38,406人**

（その他，青少年科学センター，動物園，水族館）

ごみ減量エコバスツアー



<概要>

- ・ クリーンセンターや資源リサイクルセンターなど，ごみ処理施設や産業廃棄物の処理や再資源化を行っている民間の処理施設を見学
- ・ 2020（令和2）年度は42回開催

京都市における主な環境教育・学習の取組

学校での取組（小学生，中学生）

こどもエコライフチャレンジ



<概要>

- 将来を担う子供達が，地球環境に対する理解を深め，**家族と共に地球温暖化防止につながるエコライフを実践するプログラム**
- 2020（令和2）年度は，**121の小学校**において，児童による取組実施及び各校の教員による事前・事後学習会を開催

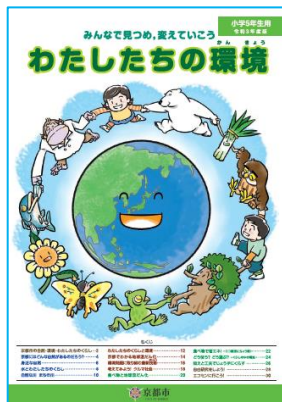
地域いきもの探偵団



<概要>

- 生物多様性の保全に向けた行動の必要性の理解を促進するため，**小学校の授業として実施する自然観察会「地域生きもの探偵団」を13回開催**

環境副読本



<概要>

- 地球温暖化をはじめ幅広く環境問題について学び，**環境保全に対する意識を持ち，知識を身に付けられるよう作成した冊子**
- 京都の自然や，ごみ量の推移なども掲載しており，児童・生徒にとって身近で興味を持ちやすい内容
- **小学生4年生用，5年生用，中学生用を作成し，市内の全学校へ配布**

京都市における主な環境教育・学習の取組

その他の取組

地域学習会「しまつのころ楽考」



<概要>

- 「食品ロス」の削減をはじめとしたごみ減量への理解と実践を呼び掛ける啓発活動の一環として、「ごみ減量について楽しく考えよう」をコンセプトに、**参加者が学習テーマから学びたい内容を選択・組み合わせることができる地域学習会**
- 2017（平成29）年度から実施しており、2020（令和2）年度は**88回実施**

「もっと知りたい！環境レポート」



<概要>

- 環境教育・学習の教材として、本市の環境の状況を分かりやすく発信する「**環境レポート（環境基本計画年次報告書）**」の**概要版として毎年度発行**
- さすてな京都，エコ学区等で活用

(参考) 環境教育・学習の取組事例

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	大学生・ 専門学生
出前講座，講師派遣	●	●	●	●	●
環境学習施設の見学，セミナー・講座	●	●	●	●	●
自然観察会	○	●	○	○	○
環境学習コンテンツの公開・配信	○	●	●	○	○
指導者向け研修の実施	○	○	○		
環境副読本，ワークブックの配布	○	●	●		
こどもエコクラブの支援（補助，発表会）	○	○	○	○	
水生生物調査		◎	◎	◎	
リーダー養成講座，共同研究・企画，交流会				◎	◎
省エネチャレンジ	○	●			
環境月間ポスター・標語・作文の募集，表彰		◎	◎	○	
エコスクール，エコキッズ園の登録（ソフト事業）	○	○			
環境インターンシップ					○

※●は京都市にて実施，◎は京都府にて実施，○は他都市等にて実施